

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関有知高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年5月13日(月) 15:00~16:30
- 3 開催場所 関有知高等学校 会議室
※開催にあたり、委員による授業参観を実施した(14:20~15:00)
- 4 参加者

会長	横山 さつき	中部学院大学短期大学部社会福祉学科 教授
副会長	澤田 通直	下有知中学校 校長
委員	山田 信之	関青年会議所 理事長
	松田 和彦	しもうちふれあいまちづくり協議会 総務部長
	武田 由美子	特別養護老人ホーム ハートフル 総務主任
	今井 典子	下有知保育園 主任保育士
	田原 晃成	せき・まちづくりNPO ぶうめらん 事務局
	古田 勇貴	関市役所市民協働課 事務員
	北村 清司	本校PTA 会長
学校側	廣江 修	校長
	山田 哲志	教頭
	小栗 啓成	事務長
	名和 憲一	教務主任
	片山 大輔	図書・情報管理主任
	吉田麻衣子	研修主事
	長尾 真由里	生徒指導主事
	瓜田 裕哉	特別活動係長
	福山 美苗	保健主事
	辻 祥平	進路指導主事
	吉野 典子	生活デザイン科主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校運営協議会趣旨説明について

意見1: 運営協議会設置規則内に記載のある「地域」とはどこまでを指すのか。

⇒小中学校区と比較し広範囲から生徒が集まるため、関市全域を想定している。

(2) 学校経営計画、組織編成、教育課程について

意見1: 学校経営計画の重点分野に記載のある「学び直し」は教育課程の中で反映されているのか。

⇒国語・数学・英語について、標準時間数より1時間多く授業時間を確保し、「学び直し」に充てている。

意見2：校内組織における分掌の名称に、生徒指導部・進路指導部といった「指導」のつく分掌名が多いが名称は県下統一なのか。

⇒決まりごとはない。生徒に親しみやすい名称を前向きに検討する。

(3) 第4次岐阜県教育振興基本計画について

(4) スクール・ミッション策定に向けたグループディスカッション

本校に期待される社会的役割や地域における存在意義、今後目指す姿を出し合い策定に向けたキーワードとしたいため、小グループで、より活発に意見交換をしてもらいたい。

グループ1

意見1：勉強だけが高校の大事な要素ではない、関有知高校で自信をつけて地域のリーダーになっていける生徒を育成し、本人も気付いてない長所や可能性を伸ばす指導をお願いしたい。

意見2：社会では勉強が苦手でも仕事のできる生徒はいる。挨拶が苦手な新入社員が多くなっているが、挨拶ができる生徒の育成をお願いしたい。

意見3：現在の職場で求められるのは対人支援が不可欠であるように感じるが、他者を理解しようとする力、優しさ、多様性を認め合える生徒の育成をお願いしたい。

グループ2

意見1：約半分の生徒が就職するという事は、若い力が集まる高校である。卒業生には若い力で地域や企業を支えてもらいたい。

意見2：将来の地域産業を支える人材として自宅学習時間を増やすことにより学ぶ姿勢を高めてることのできる生徒の育成をお願いしたい。

意見3：学び直し授業等で成功体験を得ることにより、夢が見つかる学校となっていくことを期待する。

グループ3

意見1：チャレンジ精神を持ち、主体的な学びのできる生徒の育成をお願いしたい。

意見2：生徒たちの姿からは学校生活が楽しい雰囲気が出ている。素朴で純真な心の生徒が多いと感じる。

意見3：校名の由来を紐解くことが今後目指すべき姿に繋がる可能性もある。

(5) 関有知マルシェについて

6 会議のまとめ

意見1：スクール・ミッションの策定にあたっては、生徒から意見を聴取しても参考になるのではないかと。

⇒検討する

意見2：関有知マルシェやボランティア活動等の学校行事を通して多様性を受け入れることのできる人材育成をお願いしたい。

・1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針等について承認が得られた。

・今回のグループディスカッションで出された意見を参考に、スクール・ミッション案を作成するが、第2回学校運営協議会で意見をいただき修正していきたい。